



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年4月14日

上場会社名 ベースフード株式会社 上場取引所 東
コード番号 2936 URL <https://basefood.co.jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 舜
問合せ先責任者 (役職名) COO (氏名) 川南 圭一郎 TEL 03 (6416) 8905
定時株主総会開催予定日 2025年5月28日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年5月29日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期の業績（2024年3月1日～2025年2月28日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年2月期	15,241	2.5	136	—	123	—	108	—
2024年2月期	14,874	50.9	△902	—	△891	—	△856	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年2月期	2.07	2.04	11.6	3.5	0.9
2024年2月期	△16.83	—	△69.0	△25.9	△6.1

（注）2024年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年2月期	3,851	1,036	26.9	19.56
2024年2月期	3,276	842	25.7	16.21

（参考）自己資本 2025年2月期 1,036百万円 2024年2月期 842百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	130	34	386	1,983
2024年2月期	△665	△229	29	1,430

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益	
	百万円	％	百万円	％
通期	17,413	14.2	193	41.8

（注）2026年2月期の業績予想については、「売上高」と「営業利益」のみ開示しております。詳細は、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年2月期	54,351,300株	2024年2月期	53,292,900株
2025年2月期	1,358,030株	2024年2月期	1,358,000株
2025年2月期	52,569,411株	2024年2月期	50,871,608株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たって注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2025年4月14日に機関投資家、アナリスト向けの会社説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当社は、「主食をイノベーションし、健康をあたりまえに。」というミッションを掲げ、“栄養のインフラ”としてのBASE FOODを目指しております。

ミッションの実現に向け、研究開発活動を通じて完全栄養（注1）の主食を中心としたBASE FOODシリーズの開発および改善を行い、それらを主に3つのチャネル（卸などを介さず顧客に直接販売を行う「自社EC」、他社ECプラットフォームでの販売を行う「他社EC」、コンビニエンスストアやドラッグストアなどで販売を行う「卸販売」）で販売しております。積極的な研究開発活動を通じて商品の美味しさを追求し、新商品のリリースや商品リニューアルを通じて顧客層の拡大や継続率の向上を図り、成長を遂げてまいります。

新商品開発の成果として、BASE BREADシリーズからは7種類、BASE PASTAシリーズからは2種類、BASE Cookiesからは2種類、また新しいカテゴリとして立ち上げたBASE YAKISOBAからは3種類の販売を開始いたしました。またリニューアルの成果としては、上半期にBASE BREADの全面リニューアルを実施いたしました。生地のお食感と風味が改善されると同時に、静菌性も向上することで、一定以上の菌の付着や包装破損が仮に生じた場合にも、菌の増殖をより抑制できるようになりました。さらに、下半期には新規カテゴリとして注力しているBASE YAKISOBAのリニューアルを実施し、おいしさの向上を実現しました。このような取り組みにより、「かんたん・おいしい・からだにいい」食事のラインナップおよびクオリティを高め、より豊かな食体験の機会を提供することで、「健康をあたりまえに」の実現を加速させるR&D活動を進めております。

全体としては、上述したR&D活動を含む事業基盤の強化と収益体質の改善を優先して運営した結果、8月上旬に実施した価格改定と継続的なコスト構造の改善効果が顕在化し、通期黒字化を達成いたしました。

自社ECにおいては、短期離脱リスクの高い顧客獲得を抑制し、収益性の高い顧客基盤への最適化を進めたほか、主力商品のBASE BREADシリーズを中心とした継続的な新商品展開も奏功し、解約率は過去最低水準を記録いたしました。加えて、第2四半期末に実施した価格改定により平均購買単価が上昇し、LTV（顧客生涯価値）は前年同期比+86.8%と過去最高水準に達しました。その結果、自社EC売上高は9,729,833千円となりました。

なお、サブスクリプション会員数の推移は以下のとおりとなっております。

	2024年2月期				2025年2月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
サブスクリプション会員数の推移 （万人）	20.1	20.4	20.0	20.6	21.7	22.4	22.3	21.7

（注2）各四半期末時点

卸販売においては、展開店舗数は年間を通じて5万店舗を維持し、引き続き自社ECへの流入導線として重要な役割を果たしております。コンビニは主要チェーンで高い配荷率を維持したものの、前年同期と比較すると展開店舗数は減少いたしました。一方で、スーパーマーケットやドラッグストアにおける新規展開が進み、新たな顧客接点を拡大いたしました。店舗当たり売上高は、季節性や新商品導入スケジュール等により四半期毎で変動はあるものの、全体的には前年実績から回復傾向になっており、安定して推移しております。その結果、卸販売売上高は4,458,828千円となりました。

なお、展開店舗数および店舗当たり売上高の推移は以下のとおりとなっております。

	2024年2月期				2025年2月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
展開店舗数の推移 (店舗) (注3)	46,385	49,044	53,406	51,091	50,808	50,530	51,676	50,717
店舗当たり売上高 (円) (注4)	8,800	9,500	6,900	5,950	6,950	7,630	7,190	7,175

(注3) 各四半期末時点

(注4) 当該四半期の平均。1店舗当たりの月間売上 = リテールチャネル（卸販売）全体の月間売上/展開店舗数

他社ECにおいては、戦略的なリソース配分に基づいて広告投資を抑制いたしました。その結果、他社EC売上高は852,148千円となりました。

海外事業においては、香港のセブン-イレブンでの販売開始が好調な実績を残す等、順調に推移し、海外事業全体の売上高は、184,121千円となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は15,241,454千円（前期比2.5%増）、営業利益は136,510千円（前事業年度の営業損失は902,889千円）、経常利益は123,853千円（前事業年度の経常損失は891,024千円）、当期純利益は108,952千円（前事業年度の当期純損失は856,016千円）となりました。

なお、当社の報告セグメントにおける「完全栄養食事業」の比率が極めて高く、上記の事業全体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

注1：1食（BASE PASTAは1袋、BASE BREADは2袋、BASE Cookiesは4袋、BASE FOOD Deliは1袋）で、栄養素等表示基準値に基づき、他の食事で過剰摂取が懸念される脂質・飽和脂肪酸・炭水化物・ナトリウムを除いて、すべての栄養素で1日分の基準値の1/3以上を含む

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末における総資産は3,851,309千円となり、前事業年度末に比べ574,545千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が552,239千円増加したことによるものであります。

（負債）

当事業年度末における負債は2,814,451千円となり、前事業年度末に比べ380,149千円増加いたしました。これは主に、新規の借入に伴い1年内返済予定の長期借入金が166,656千円、長期借入金が236,128千円増加したことに加え、課税所得の増加に伴う未払法人税等の増加52,629千円、顧客向けインセンティブ制度のリニューアルに伴い契約負債が91,017千円増加したことによる一方で、支払により未払金が178,302千円減少、返済により短期借入金が100,000千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当事業年度末における純資産は1,036,858千円となり、前事業年度末に比べ194,395千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使により資本金が42,810千円、資本準備金が42,716千円増加した一方で、当期純利益の計上により利益剰余金が108,952千円増加したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,983,167千円となり、前事業年度末に比べ552,239千円増加いたしました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は130,431千円（前事業年度は665,900千円の使用）となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上による124,024千円の増加、減価償却費の計上による63,956千円の増加及び、顧客向けインセンティブ制度のリニューアルに伴い契約負債が91,017千円増加したことによるものであります。また、主な減少要因は、未払金の支払による減少169,700千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は34,930千円（前事業年度は229,435千円の使用）となりました。これは主に、供託金の返還に伴う差入保証金の回収による収入165,107千円及び自社倉庫の拡大に伴う敷金等の差入保証金の差入による支出45,215千円、有形固定資産の取得による支出78,866千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は386,877千円（前事業年度は29,656千円の獲得）となりました。これは主に、新規の長期借入れによる収入500,000千円、新株予約権の行使による株式発行による収入85,459千円、短期借入金の純増減100,000千円及び、長期借入金の返済による支出97,216千円によるものであります。

（4）今後の見通し

現代の食生活におけるニーズは、健康志向、経済性志向、簡便化志向の傾向が顕著です（注）。このような環境の下、当社は「かんたん・おいしい・からだにいい」のすべてを叶える主食サービスを実現するべく、2026年2月期も引き続き、競争力の源泉である研究開発投資と認知拡大の取り組みを強化してまいります。

具体的には、商品とサービスの両軸で自社ECの継続率向上に取り組むとともに、認知拡大に向けた投資強化と販路拡大による送客強化を通じて自社ECサブスクリプション会員数の獲得を加速させてまいります。

上記の売上成長によって創出した利益を、認知強化を目的とした広告や、事業成長および生産性向上を目的としたDX・AI投資に再投資してまいります。

上記の考え方にに基づき、2026年2月期の売上高は17,413百万円（前期比14.2%増）、営業利益は193百万円（前期41.8%増）を見込んでおります。なお、業績予想は、本資料の発表日までににおいて当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているもので、実際の業績等は、様々な要因により変動する可能性があります。また、営業利益以下の各段階利益については、黒字を見込んでいるものの、営業外収益として計上される予定であるSBIR制度による補助金の入金額が現時点で確定しておらず、具体的な金額を開示することが困難であることから、経常利益及び当期純利益の予想は開示しておりません。

注：日本政策金融公庫「消費者動向調査（令和4年7月）」P3より。（全国の20歳代～70歳代の男女各1,000人を対象。「現在の食に関する志向について特に強いものをお選びください」という質問に対し、上位2つまで複数回答可）

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は重要な子会社が存在しないため連結財務諸表を作成しておらず、また日本基準及び国際会計基準による並行開示の負担等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,430,928	1,983,167
売掛金	781,849	775,373
商品	175,050	190,757
原材料及び貯蔵品	20,102	39,192
前払費用	68,746	115,148
未収入金	175,859	149,722
その他	18,835	21,338
流動資産合計	2,671,371	3,274,701
固定資産		
有形固定資産		
建物	104,243	122,321
減価償却累計額	△28,849	△42,296
建物（純額）	75,393	80,025
機械及び装置	26,330	61,170
減価償却累計額	△3,077	△10,132
機械及び装置（純額）	23,252	51,038
工具、器具及び備品	26,328	57,508
減価償却累計額	△10,952	△26,657
工具、器具及び備品（純額）	15,375	30,851
リース資産	8,587	8,587
減価償却累計額	△357	△1,789
リース資産（純額）	8,229	6,798
有形固定資産合計	122,252	168,712
無形固定資産		
特許権	1,341	1,550
商標権	3,073	2,972
無形固定資産合計	4,414	4,522
投資その他の資産		
長期前払費用	44,632	65,545
差入保証金	390,567	270,675
繰延税金資産	43,525	67,152
投資その他の資産合計	478,726	403,373
固定資産合計	605,392	576,608
資産合計	3,276,764	3,851,309

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	556,857	545,131
短期借入金	500,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	—	166,656
リース債務	1,349	1,384
未払金	829,413	651,111
未払費用	121,437	161,759
未払法人税等	16,694	69,324
契約負債	284,474	375,492
預り金	50,589	51,374
ポイント引当金	13,519	12,749
その他	29,170	103,130
流動負債合計	2,403,506	2,538,115
固定負債		
長期借入金	—	236,128
リース債務	6,905	5,520
資産除去債務	23,890	34,687
固定負債合計	30,795	276,336
負債合計	2,434,302	2,814,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,046	1,174,857
資本剰余金		
資本準備金	1,542,516	1,585,233
その他資本剰余金	527,605	527,605
資本剰余金合計	2,070,122	2,112,839
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,332,522	△2,223,569
利益剰余金合計	△2,332,522	△2,223,569
自己株式	△27,567	△27,583
株主資本合計	842,079	1,036,543
新株予約権	382	315
純資産合計	842,462	1,036,858
負債純資産合計	3,276,764	3,851,309

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）	当事業年度 （自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）
売上高	14,874,087	15,241,454
売上原価	7,476,255	6,860,688
売上総利益	7,397,831	8,380,765
販売費及び一般管理費	8,300,721	8,244,255
営業利益又は営業損失（△）	△902,889	136,510
営業外収益		
受取利息	26	1,231
受取補填金	54,527	2,654
為替差益	—	1,011
その他	3,364	3,435
営業外収益合計	57,918	8,332
営業外費用		
支払利息	5,840	19,641
支払保証料	1,139	592
リコール関連費用	37,373	—
その他	1,699	755
営業外費用合計	46,053	20,989
経常利益又は経常損失（△）	△891,024	123,853
特別利益		
固定資産売却益	—	171
特別利益合計	—	171
特別損失		
固定資産除却損	3,255	—
特別損失合計	3,255	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	△894,279	124,024
法人税、住民税及び事業税	5,263	38,699
法人税等調整額	△43,525	△23,626
法人税等合計	△38,262	15,072
当期純利益又は当期純損失（△）	△856,016	108,952

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,102,100	1,512,806	527,605	2,040,412	△1,476,505	△1,476,505	△27,567	1,638,439
当期変動額								
新株の発行 （新株予約権の行使）	29,945	29,710		29,710				59,656
当期純損失（△）					△856,016	△856,016		△856,016
当期変動額合計	29,945	29,710	—	29,710	△856,016	△856,016	—	△796,360
当期末残高	1,132,046	1,542,516	527,605	2,070,122	△2,332,522	△2,332,522	△27,567	842,079

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	382	1,638,822
当期変動額		
新株の発行 （新株予約権の行使）		59,656
当期純損失（△）		△856,016
当期変動額合計		△796,360
当期末残高	382	842,462

当事業年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,132,046	1,542,516	527,605	2,070,122	△2,332,522	△2,332,522	△27,567	842,079
当期変動額								
新株の発行 （新株予約権の行使）	42,810	42,716		42,716				85,527
当期純利益					108,952	108,952		108,952
自己株式の取得							△15	△15
当期変動額合計	42,810	42,716	—	42,716	108,952	108,952	△15	194,463
当期末残高	1,174,857	1,585,233	527,605	2,112,839	△2,223,569	△2,223,569	△27,583	1,036,543

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	382	842,462
当期変動額		
新株の発行 （新株予約権の行使）	△67	85,459
当期純利益		108,952
自己株式の取得		△15
当期変動額合計	△67	194,395
当期末残高	315	1,036,858

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△894,279	124,024
減価償却費	34,544	63,956
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	22,555
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,562	△769
受取利息	△26	△216
支払利息	5,840	19,641
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△171
固定資産除却損	3,255	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△220,099	6,475
棚卸資産の増減額 (△は増加)	18,824	△34,797
仕入債務の増減額 (△は減少)	99,974	△11,725
未払金の増減額 (△は減少)	263,238	△169,700
未払費用の増減額 (△は減少)	△16,068	40,321
契約負債の増減額 (△は減少)	91,618	91,017
その他	△42,764	3,684
小計	△654,380	154,296
利息の受取額	26	216
利息の支払額	△5,861	△21,610
法人税等の支払額	△5,684	△2,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	△665,900	130,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,443	△78,866
無形固定資産の取得による支出	△3,397	△766
有形固定資産の売却による収入	—	171
資産除去債務の履行による支出	—	△5,500
差入保証金の差入による支出	△169,099	△45,215
差入保証金の回収による収入	11,503	165,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229,435	34,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△30,000	△97,216
新株予約権の行使による株式の発行による収入	59,656	85,459
自己株式の取得による支出	—	△15
リース債務の返済による支出	—	△1,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,656	386,877
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△865,679	552,239
現金及び現金同等物の期首残高	2,296,608	1,430,928
現金及び現金同等物の期末残高	1,430,928	1,983,167

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主として完全栄養食事業を展開しており、事業の形態を基に「完全栄養食事業」を単一の報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高はありません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報
前事業年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注1）	合計	調整額（注3）	損益計算書計上額（注2）
	完全栄養食事業				
売上高					
外部顧客への売上高	14,874,054	33	14,874,087	—	14,874,087
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,874,054	33	14,874,087	—	14,874,087
セグメント損失（△）	△812,421	△5	△812,427	△90,461	△902,889

- （注） 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント損失（△）は、財務諸表の営業損失と一致しております。
 3. 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。
 4. セグメント資産の金額は、事業セグメントに配分を行っていないため、開示しておりません。

当事業年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注1）	合計	調整額（注3）	損益計算書計上額（注2）
	完全栄養食事業				
売上高					
外部顧客への売上高	15,234,705	6,749	15,241,454	—	15,241,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,234,705	6,749	15,241,454	—	15,241,454
セグメント利益又は損失（△）	264,850	△3,076	261,773	△125,263	136,510

- （注） 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失（△）は、財務諸表の営業利益と一致しております。
 3. 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。
 4. セグメント資産の金額は、事業セグメントに配分を行っていないため、開示しておりません。

（1株当たり情報）

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	16.21円	19.56円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失（△）	△16.83円	2.07円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	2.04円

（注） 1. 前事業年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失（△）及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失（△）		
当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	△856,016	108,952
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	△856,016	108,952
普通株式の期中平均株式数（株）	50,871,608	52,569,411
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	—	754,014
（うち新株予約権（株））	—	(754,014)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権8種類 新株予約権の数20,369個 普通株式2,336,600株	新株予約権2種類 新株予約権の数7,121個 普通株式712,100株

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
純資産の部の合計額（千円）	842,462	1,036,858
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	382	315
（うち新株予約権）（千円）	(382)	(315)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	842,079	1,036,543
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	51,934,900	52,993,270

（重要な後発事象）

該当事項はありません。